

# 質 疑 一 般 質 問



やま だ かげあき  
**山田景照** 議員

新政熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会  
広域行政推進特別委員会  
(副委員長)

その他の質問項目

■湯河原町との公共施設の相互利用 ■市総合計画の進捗・管理体制

9月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## ごみ処理費削減時の市民への還元について 避難所である各学校の児童生徒向け備蓄品について

**質問** 令和8年4月からごみ収集方法が変わる。雑紙の資源化等で処理費用が削減されるとのことだが、削減された費用に見合う市民への還元を求める。市の考えは。

**答弁** ごみ削減量を測定することは可能である。還元に関しては先行する他市町の事例を研究していく。

**意見** 削減された費用の使いみちを研究する必要がある。高齢者の外出支援や学校給食の無償化など粗上に乗るだろう。本件は、

市民目線では単に不便になる話。「効果がでれば、市民生活にお返しするので、ごみ分別をお願いしたい。」と言ったのが筋ではないか。市民の努力に報いるべき。

**質問** 今回の補正予算で避難所指定されている熱海中学校の体育館に空調を整備予定である。各学校が避難所指定されているが、児童生徒向けの備蓄品は学校ごとに整備されているか。市の統一基準や学校への指導はしているか。

**答弁** 一般的な備蓄であり、児童生徒向けの特別な用意はない。  
**要望** いざという時の避難所生活で、小学一年生と大人を同様に扱えるのかは疑問。また、同じ熱海市下の学校で、準備に大きな差があるのは好ましくない。危機管理課と学校教育課が連携して、学校関係者や保護者らに啓発してほしい。



いなむら ちひろ  
**稲村千尋** 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■今後10年以内に本市はどのような公共施設整備が必要か

9月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## 子どものいる世帯や高齢者への支援策について 県水から独立し自己水源方式採用について

**質問** 子育て世帯に対する支援を要望させていただき、市の単独事業として0〜2歳児保育料の無償化、在宅育児応援金など拡充された。ただ、経済的に不安定な子育て世帯に対する支援は十分ではない。支援策を検討し実施していただきたい。

**答弁** 現状の把握に努め、その結果に応じて所要の支援策を検討したい。

**質問** 高齢者の外出支援は、東京や川崎、横浜などではバスの割引などが行われている。他市町と比較して熱海の高齢者支援策はどうか。

**答弁** 伊豆市では80歳以上の方を対象にバス等の利用料金の助成を実施している。熱海も何らかの支援策が必要と考える。

**質問** 熱海は静岡県から水道水（柿田川湧水）を購入している。令和2年度は水道料金収入の約45%を受水費として県へ支払い、県水購入が水道事業会計の大変厳しい財政状況の要因となっている。当時の担当部長は熱海が自己水源の開発整備を行えば、年間1億5千万円程費用を圧縮できると説明された。熱海は50年先を見越して県水から独立し、自己水源方式を進めるべきである。県水に頼らないで自己水源だけで熱海の水を賄えるようになるのは、何年先になるか。

**答弁** 整備完了時期は令和29年度末を見込んでおり、30年度から自己水源のみで賄うことを想定している。